



6年生

ビブリオバトルに ちょうせん!

2025年7月14日(月)実施

7月14日(月)5・6時間目に、群馬県立図書館の講師の先生を迎えて、ビブリオバトルの授業を行いました。修学旅行終了後、紹介したい本を何度も読み込んで準備を進めました。

ビブリオバトルとは?

おすすめの本を持ち寄って5分間で紹介し合い、一番読みたくなった本を投票で決めるゲームです。「人を通して本を知り、本を通して人を知る」というキャッチコピーで、コミュニケーション能力や論理的思考力を養う場としても活用されています。

①ビブリオバトルを学ぶ

講師の先生が準備した資料を見ながら、ビブリオバトルについて学びました。



②デモンストレーション

講師の先生「大人も知らない不思議現象辞典」担任の先生「15歳のテロリスト」を使ってバトルを行いました。勝敗は…。



③ビブリオバトル体験

4~5人のグループになってビブリオバトルを行いました。持ち時間は一人3分。事前準備はしていましたが、3分間話し続けるのは、なかなか難しいですね。



④振り返り

今日の授業を振り返って感想を書きました。

感想の紹介

- むずかしいと思っていたけど、3分が意外と短くて、5分でちょうどいいのかもと思いました。楽しかったので、家族ともやってみたいです。
- 文が多い本だから、チャンプ本に選ばれないと思っていたけど、説得力のある説明ができるように練習を頑張ったら選んでもらえてうれしかったです。私の知らない本や面白そうな本に出会えて、これからはたくさん本を読みたいとあらためて感じました。
- 3分間やってみて、その場で何も見ずに話すのはむずかしいと思ったけれど、班の人たちがうなずいてくれたり、興味をもってくれたりしたので、最後はとても楽しく話すことができよかったです。
- 私は「本を少しでも好きになりたい」と思っていたのですが、今日を終えて本が大好きになれました。友だちのおすすめの本も詳しくわかり、読みたいと思う本もたくさんあり、とても楽しかったです。
- 独特なタイトルを主張する人や、内容の詳しい部分を主張する人もいて、人それぞれ選んだ本のよさがそういう部分を通してよく分かりました。
- ビブリオバトルは、とにかく楽しむことと、一緒にやった人とのコミュニケーションを取ることだとわかりました。

どの発表もとても素敵でした。また挑戦してみてくださいね!

